

個人と社会のウェルビーイングの実現 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び

ありたい姿	実現に当たっての主な課題	実現に向けた取組	想定される取組主体
<p>1 子どもたちが学校等でやりたいことを実現できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもたちが先生と会話する時間が不足している</li> <li>■子どもたちが主体的・能動的に学べる環境が十分ではない</li> <li>■保護者・地域などからの理解・協力が得られにくい</li> </ul>		
<p>2 教員が学校等でチャレンジしたいことを実現できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教員が多忙で時間的・精神的に余裕がない</li> <li>■外部人材の活用が進んでいない</li> <li>■保護者との対等な関係づくり</li> <li>■管理職育成及びマネジメント力向上事例の創出が必要</li> </ul>		
<p>3 多様性の時代に即した入試制度になっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受験と自分の強みを伸ばす学び・自分の興味関心を突き詰める学びが両立しない</li> <li>■多様な学びに対応する柔軟な評価方法の検討が必要</li> </ul>		
<p>4 様々な機関が連携・協働している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校と学校外の関係者との対話の場・機会が不十分</li> <li>■学びに関わる様々な機関の情報にアクセスできる環境が整備されていない</li> <li>■関係諸機関の連携を促進する調整役の人材が不足している</li> </ul>		
<p>5 小規模校ならではの特色ある学びが実現できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人口減少下における学びの場や質の維持</li> <li>■小規模校の学びを支える人材が確保できていない</li> <li>■学校間、自治体間等の連携が進んでいない</li> </ul>		
<p>6 学びの場を信州全体で支えている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもが抱える困難の多様化・複雑化に対する理解が進んでない</li> <li>■学校だけに責任を迫る社会（保護者、地域等）の不寛容さ</li> </ul>		